

# こんにちわ

2022年6月  
第168号

NPO法人 たすけあいこんにちわ機関紙

〒262-0025 千葉市花見川区花園1-6-7

TEL 043-296-3221 FAX 043-296-3243

メールアドレス [tasukeaikonnichiwa@theia.ocn.jp](mailto:tasukeaikonnichiwa@theia.ocn.jp)

月～金 9:00a.m.～6:00p.m.

休業日 土曜日・日曜日・祝日

桜から紫陽花へと季節が変わり、気温もあがってきました。

5月15日は沖縄が本土復帰して50年を迎え、メディアでも今までの歴史が放送、掲載されていましたが、まだまだ様々な課題が残されているようです。

今の私たちは、新型コロナの感染を気にしながらの生活が続いています。

ただ、最近では近くの小学校でも運動会が行われ、予防対策をとりながら少しずつ以前の日常に戻り始めているようにも感じます。この先も感染への不安はありますが介護の担い手として事業を続けて行きたいと思えます。

今年の定期総会も書面評決で行われ、無事、議案は可決されました。

ご協力ありがとうございました。

事務局長 丸尾幸子



- ☆ 困った時の“たすけあいこんにちわ”
- ☆ 介護保険訪問介護事業所
- ☆ 介護予防訪問介護事業所
- ☆ 障害者総合支援訪問介護
- ☆ エンゼルヘルパー派遣事業所
- ☆ 介護用品“こんにちわのお店”
- ☆ 千葉市給付事業指定業者(紙オムツ)

◎毎月第一(土)の事務局会議は開かれた会議です。

ご意見のある方はいつでも自由参加でき、発言も出来ます。

遠慮なくご参加ください。

# < 活動実績 >



2021.4～2022.3

| 月   |     | たすけあい | 介護保険        | 障害者サービス |
|-----|-----|-------|-------------|---------|
| 4月  | ケース | 9     | 21(総合 17)   | 10      |
|     | 時間  | 56.5  | 299 時間 30 分 | 144     |
| 5月  | ケース | 10    | 21(総合 16)   | 11      |
|     | 時間  | 39    | 285 時間 10 分 | 138.5   |
| 6月  | ケース | 11    | 21(総合 17)   | 9       |
|     | 時間  | 48.5  | 299 時間 30 分 | 146.5   |
| 7月  | ケース | 9     | 22(総合 16)   | 10      |
|     | 時間  | 44    | 301 時間 45 分 | 136.5   |
| 8月  | ケース | 10    | 23(総合 15)   | 10      |
|     | 時間  | 43.5  | 284 時間 50 分 | 137     |
| 9月  | ケース | 12    | 22(総合 15)   | 11      |
|     | 時間  | 43.5  | 297 時間 45 分 | 134.5   |
| 10月 | ケース | 10    | 21(総合 16)   | 10      |
|     | 時間  | 54    | 294 時間 05 分 | 142     |
| 11月 | ケース | 10    | 21(総合 16)   | 10      |
|     | 時間  | 46    | 281 時間 55 分 | 138.5   |
| 12月 | ケース | 11    | 21(総合 15)   | 9       |
|     | 時間  | 50.5  | 291 時間 15 分 | 126     |
| 1月  | ケース | 10    | 21(総合 15)   | 10      |
|     | 時間  | 37.25 | 271 時間 15 分 | 129     |
| 2月  | ケース | 12    | 20(総合 14)   | 10      |
|     | 時間  | 46    | 263 時間 40 分 | 129     |
| 3月  | ケース | 8     | 20(総合 14)   | 10      |
|     | 時間  | 40.75 | 308 時間 25 分 | 153     |

# 見事な100年の人生



ある三姉妹の人生を仕事とはいえ、垣間見させて頂き感銘を受けました。

98歳、96歳、92歳の三姉妹で、長女さんが建てた家に仲良く暮らしておられました。長女さんはしっかり家長として皆をまとめられ、3人とも独身でそれぞれ仕事を持ち定年まで勤められたようです。

今から3年前の春、そもそもは三女さんに認知症状があらわれ、その対応策としてヘルパー訪問が始まりました。

この年代の方にありがちですが、とても物を大切にされる気持ちが強く、何でもとっておかれるので生活スペースが脅かされていました。

ケアマネさん達が荷物でふさがれた掃き出し窓を復活すべく等、アクションを起こしますが「それはとっておいて」というものが多くなかなか荷物は少なくなりませんでした。

三女さんは長女さんにかわいがられ庭掃除や買い物、台所の手伝いなどを一緒にされていましたが、徘徊するようになり、とんでもなく遠方まで歩いて行ってしまい大騒ぎになった事がきっかけで施設入所を選択されました。施設での生活に慣れて落ち着いてくると姉たちが面会に訪れてもニコニコと「用事がすんだら早く帰りなさい」というほどなじんでおられました。けれど、徐々に認知症が進み、食事をとらなくなり衰弱して人生を終えられました。

次女さんは足が不自由になっておられたので活動的な家の仕事はできませんが、頭脳明晰で書き物、計算仕事、書類作成などまるでコンピューターさながらです。担当ヘルパーは記憶力や的確な買い物依頼を目の当たりにして頭が下がりはなしでした。

長女さんは年末に三女さんの納骨を終え、ほっとしたのか力が抜けたような日々を過ごされていました。訪問看護師による入浴の後にはぐったりしてベッドで横になられることが

多かったです。ただ、食べることへの意欲は強くあり「うまいものが食べたい」とよくおっしゃっていました。体調を考慮され、訪問看護、訪問医療、訪問リハビリ、訪問介護などのサービスが計画されていました。

ある日の夜中に長女さんは「ヘルパーのつくったスープが飲みたい」とおっしゃり、次女さんが不自由な足でベッドまで運び飲ませたそうです。夜が明けてその日の午前、ヘルパーが訪問し、身体を清拭し、おしもも整え、ご本人のご希望で、おかゆとスープを召し上がりました。

仕事を終えたヘルパーは長女さんから「いつもありがとう。お世話になったね」としっかりお礼を言われ、安心して退出しました。

そして昼頃、訪問看護師さんが訪れるとすでに永遠の眠りにつかれていたとのことでした。苦しむことなく、迷惑をかけることもなく、長女としての人生をお手本のように生き切り、まさに眠るように旅立たれました。

お見事の一言に尽きます。 あっばれです。

次女さんは足が不自由ですがヘルパーの助けを借り庭の紫陽花を仏前に供え、ご自分もこの家で最後まで過ごしたいと考えられています。空の向こうのお姉さん、妹さん、ご家族みんなに見守られながら……



★令和4年度年会費納入のお願い

今年度も昨年同様書面評決の形をとり、皆様のご協力によりすべての議案が可決されました。

年会費納入は事務所来所または郵便振込み(口座番号・記号 00160-2-773411))にて、入金をよろしくお願ひします。